

②のご質問には、生育や受診の記録を詳しく残しておいていただくこと。

③のご質問については、本来は、一人の人格として、最大限権利の擁護を託すことができる成年後見制度の利用を進めるべきではあるが、ご家族がご本人にとって一番の権利擁護者であることが前提であれば、ご本人による対応が難しい法律行為が発生した時に申し立てを行うことも一つの考え方であることをご説明させていただきました。

小泉理事長からは、まだまだ制度として過渡期の状態であり、改善が必要であることの説明もありました。

第2部の座談会では、はじめに小泉理事長から、『育成会について』、『ご自身の子育てから学んだことについて』、『お子さんと医療機関の間でもたれた、印象深いやりとりについて』などをお話していただき、卒業後も相談できる親同士の関係性、仲間づくりが有効なこと、学齢期から将来のことを見据えて、さまざまな可能性を検討し、経験を増やしておくことの重要性等の説明がありました。参加者の多くはお母さんたちでしたので、同じ母親同士多くの共感が生まれていたようでした。

【第2部の座談会で親の想いを語る小泉理事長】



最後に、飯塚事務局長から『育成会の本』のご紹介、保険についてのご案内をさせていただき、2時間の勉強会は終了しました。

勉強会の翌日に、校長の南先生とPTA会長の馬場様からメールをいただきましたので、当日の様子を感じていただくために、御二方からご了解をいただき、ご紹介させていただきます。

今回の学習会に出席された保護者の皆様は、大変熱心にお話を聞いておられ、PTA活動に今回のような活動を期待されていたのだと実感いたしました。

小泉理事長からは、お子様が学齢期に親同士のつながりを広げ、深めることの大切さを伝えていただきました。

PTA活動がそのための有効な場となりますよう、PTA役員の皆様と共に取り組んでまいりたいと存じます。

大阪府立住之江支援学校 校長 南晃二 先生

講演後のアンケートには、年金申請の手続きについて具体的に説明していただき、とてもわかりやすかったです。

有益な情報をたくさん知ることができた等のコメントが多数寄せられていました。

育成会が、これまで多くの相談を受けてこれ、その一つ一つに真摯に向き合ってくれたことがとてもよく伝わってくる講演だったと思います。

親だけではなく、当事者の権利保護をより重視する姿勢にも感銘を受けたという声もありました。

大阪府立住之江支援学校

PTA会長 馬場 三千代 様

このような機会をいただき、皆さんの反応を見させていただいて、手前味噌にはなりますが、やはり育成会の活動は多くの人に必要だと感じたこと、素敵な活動だなと改めて実感する機会になりました。ありがとうございました。

全国手をつなぐ育成会連合会『権利擁護セミナー』
～啓発キャラバン隊オンライン研修会～が
開催されました

12月3日にインターネット上で、全国手をつなぐ育成会連合会の権利擁護委員会が主催で、啓発キャラバン隊オンライン研修会が開催されました。

今年度は新型コロナウイルス感染症のため、11月に愛媛県で予定されていた全国大会も延期となり、全国規模の研修会の開催が見合わせられておりましたが、初めてオンライン研修会として開催されました。

